

# 住宅購入の決め手1位は価格、地盤の良さが上位に



HOMEPLAZA 総研（東京都港区）が東日本大震災から半年経過した消費者心理を知るため、住宅購入検討者1000人に住宅購入の「決め手」を調査したところ、1位「物件の価格」、2位「物件の間取りや広さ」、3位「建物の地震対策」と続き、震災による土地の液状化が問題視された影響か、8位に「建物が建つ土地の地盤の良さ」がランクインしたそうです。

昭和45年頃に訪れた住宅建築ブームの折は、数多くの住宅需要を満たすためにまず宅地が必要で、素地が何であろうとお構いなく、都市周辺のおき地が宅地造成されました。その結果「不同沈下事故」が多発し大問題になりました。



第2号

2012.1月

株式会社  
エヌエスピー  
<http://www.kkns.jp>

これを受け建築基準法で耐震基準の法改正が段階的に行われたほか、平成11年『住宅品質確保促進法』が制定され、平成13年に『地盤の許容応力度及び基礎ぐいの許容支持力を求めるための地盤調査の方法』について、国土交通省より告示されました。わが国の戸建住宅の約半数が軟弱地盤に建設されていると言われていています。

限りある国土の中で住宅を建設する為に、確かな地盤調査と適正な地盤補強工事が行われることを期待したいと思えます。

## ◆NSP型枠の誕生と変革◆

昭和47年の創業以来皆様にご愛顧頂いている『NSP基礎鋼製型枠』。

その開発のきっかけは、「基礎の精度を高めたい！」とお客様よりお言葉を頂いた事から始まりました。

住宅の大量供給に伴い品質の低下がメディア等で取上げられ、住宅産業も品質向上に向かって知恵を出し合う時代を迎えるようになってきました。

こうした時代背景のなか、住宅基礎の精度向上と作業性・経済性を兼ね備えた製品として「ハンマー・ボールがあれば組立・解体ができる」をセールストークにリリースしたのが、『NSP基礎鋼製型枠』です。

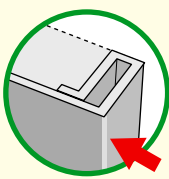
当時基礎の型枠といえば木製しかなく、鋼製は「価格が高い」と懸念され、導入には慎重な方が多かったようです。

しかし、大手プレハブメーカー様に採用して頂けるなど、その費用対効果が徐々に認められ、現在では広くご利用頂けるようになりました。

発売当初は板厚1.8ミリの鋼板で形成された、今思えばかなり重たい型枠でした。

その後、軽量化による作業性向上を図り、板厚を1.6ミリ、1.2ミリへと変革してきました。

構造面では、型枠裏面の補強鋼の形状変更（Z型から山形鋼へ）による型枠強度の向上や当社独自の1枚板からの箱曲げにする型枠一体成型により部材接続部から生コンノロの浸入防止を図り、耐久性を向上させました。



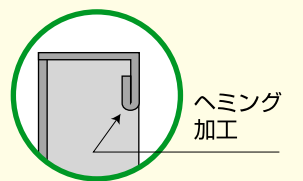
無口防  
間の侵入

また、型枠の上下折り返し（ヘミング加工）を追加する事で、型枠の持ち運

び時に手を切らないよう安全性を向上させました。

さらに、材質も剥離性の高い鋼材へと変更し、作業性・耐久性向上にむけたモデルチェンジを続けています。

この変革の様子が伺える現場に遭遇しましたので、ご紹介いたします。



写真左

写真右

神奈川県横浜市

写真右側の型枠は板厚1.6ミリ型枠で補強鋼がZ型である事から発売後30年以上経過したものと思像されます。

その左側に接続された型枠（写真左）は、板厚1.2ミリで1枚板を箱曲げによって成型したF型型枠で、面板と角パイプが一体化しているので、ノロ詰ま

りがなく耐久性が向上したと高い評価を頂いている製品です。

30年以上経過した型枠と、最新仕様の型枠が同じ現場で使用されているのに感慨深く思います。

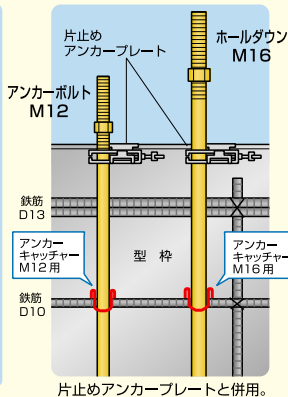
さて、この型枠を所有するお客様に話を伺ったところ、「この年代ものの型枠は、知人より譲り受けた」との事でしたが、こうして今もなお現役でご利用いただいているのはうれしい限りです。

また、撮影を快く引き受けて頂きありがとうございました。

## ◆アンカーボルト傾き抑制にアンカーキャッチャー発売中◆

この商品は、アンカーボルト M12用（500入）・M16用（200入）で鉄筋 D10・D13どちらにでも取付可能です。

また取付後にアンカーボルトの高さ調整も可能です。



# 大口径管・ボックスカルバート敷設に

## ◆クイック土留 新製品紹介◆

皆様にご愛顧頂いておりますクイック土留に新しい部材を追加しました。

### ① 「縦梁連結金具」



縦梁連結金具



連結用ボルト



片口スパナ



押込みカバークイック土留

この商品を使用すると、大口径管やボックスカルバートなどを施工するときに邪魔になる下段パネルのクイックサポートを、捨て梁を設置することで2本とも取外すことができ、現場の施工性が向上します。

施工上の適用範囲は、粘性土地盤で深さ3メートル、砂質土地盤で深さ4メートルまでとなっております。(詳しくは当社の営業にお尋ねください)

使用方法は至って簡単で、通常下段パネルの上に重ねるパネルを天地逆にし、ジョイント部分に「縦梁連結金具」を入れてボルトを締めるだけです。ぜひ皆様の現場でお役立て下さい。



ボックスカルバート設置現場  
宮城県大河原町

実際にご利用して頂いたお客様からは、

「この製品が無ければ山留材を使用することになり、コストも高く、施工性も悪い。クイック土留をそのまま利用でき、現場も綺麗に仕上がったのが非常に良かった。」と感想を頂きました。

### ② 「盛変補助油圧ジャッキ」

縦梁連結金具を使用し、クイックパネルに取り付けてあるクイックサポートを取外すときなど、クイックサポートが簡単に縮まない場合に使用します。油圧ジャッキでパネルを押し広げ、クイックサポートが縮みやすくなるように補助します。吊り降し用のウインチもご用意しています。



## 営業所通信

### ◆栃木ヤード新設◆

2011年11月に土留レンタル機材ストックヤードとして新規オープンした、「栃木ヤード」をご紹介します。



栃木ヤードの所在地は、京都と日光をつなぐ例幣使街道の宿場町として江戸時代より栄え、市の中心部には今もその繁栄振りを偲ばせるように黒塗りの重厚な見世蔵や、白壁の土蔵群が残っている歴史のある街です。親切・丁寧・安心をモットーに地域に根ざした営業活動を積み重ねて、多くのお客様に喜んでもらえるようなヤード作りを目指しますので、どうぞよろしくお願い致します。

#### ◎詳細住所は

栃木市城内町2-6-1-45

東北自動車道栃木ICから南東へ約15分、県道32号線樋ノ口交差点を西へ曲がって約400m

#### ◎お問合せは

NSP 東関東営業所  
電話 0297 (52) 6837  
営業担当は辰沢(タツザワ)まで。

## ◆樹脂ステッパ 山口国体で活躍◆

2011年10月に開催された第66回国民体育大会(山口県)において、当社樹脂ステッパが各会場の屋内外仮設敷板として延べ約8万枚ご採用頂きました。



## 編集後記

テレビ東京系列「カンブリア宮殿」に出演した幻冬舎・見城社長の発言で印象に残った言葉を紹介します。

「ビジネスはGNO(義理・人情・恩返し)が大切だ。GNOは良縁を呼び寄せる基本であり、信用・信頼関係を築く源である。」

義理とは人として守るべき正しい道、道理の事。

人情とは人間の自然な心の動き、ありのままの情感の事。

そして、恩返しとは受けた恩に報いる事。困った人に恩をかける事も恩返しである。

まずはGNOを心掛ける事から始めたいと思います。

編集長 井口 和修